

種名	カ ワ ウ												
	<u>Phalacrocorax carbo</u>												
													
分類	ペリカン目ウ科												
特徴	木の上に集団で巣を作る、顔の白い、黒く大きな水鳥。ユーラシアや北米大陸、アフリカ、オーストラリアの一部で広く繁殖する。日本でもかつては本州各地で繁殖していたが、だんだん数が減り、1980 年代には青森、東京、愛知、見え、大分などわずか6都県のコロニーが残るだけとなった。青森県では夏鳥、他では留鳥である。												
生活	ウ類は先の曲がった長いくちばしと長い首を持つ大形の水鳥で、水かきを使い尾をかじにして巧みに潜水し、魚などの餌を捕える。カワウは内湾や湖沼に棲息し、その近くの林で集団繁殖する。産卵期は 11～6月の長期にわたる。抱卵日数は 25～28 日位。天然記念物に指定されながらも、糞によって樹木が枯れる、都市化による環境の悪化、採餌地の水質汚染といった人為的なことも見逃せない。												
声	繁殖地では「グルルグルル」とか「グワツ」「グワー」というような「キイクキイク」といった甲高い声で絶えず鳴いている。繁殖期以外はほとんど鳴かない。												
見分け方	ウミウによく似るが、カワウの背面は茶褐色で、くちばしのつけ根の黄色部はのどもとまで達する。												
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
その他	全長 (L) 81cm 翼開長 (W) 129cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													